

事業番号	045
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市国際交流協会助成事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生活交流課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	交流係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		2 交流		2		外国籍市民との交流がしやすい環境を整備する							
		副目的														
	予算区分	款	2		項	7		目	2		大	5		中	2	
	根拠法令・個別計画															
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	小牧市国際交流協会を支援することにより、組織の確立を目指し、協会事業の円滑な運営を図ることを目的とする。														
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容 日本人市民と外国人市民の共生やふれあいをテーマに日本語教室や日本文化理解講座、プレスクール、国際交流ふれあいフェスタや国際料理教室、会報「つばさ」の発行、国際理解講座、外国語講座、交流団体等の支援など、外国人と日本人が互いに理解し合えるような事業を展開できるよう費用を補助した。 職員は、国際交流ふれあいフェスタなど、人的応援が必要となる場合に適宜支援を行った。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳 ・小牧市国際交流協会補助金 16,000千円</p> <p>※25年度実施内容 24年度に準じて業務を行う。 また、26年度にKIA設立20周年の節目の年を迎えるため、事業の改善を図ったり、20周年記念事業の検討を行う。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 ・小牧市国際交流協会補助金 16,000千円</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
			費用	直接経費	千円	15,000	16,000
コスト	正職員	従事者数	人	0.43	0.30	0.20	0.30
		人件費	千円	2,291	1,599	1,066	1,599
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	17,291	17,599	17,066	17,599	
	対前年比	%		101.7	96.9	103.1	
財源	一般財源	千円	17,291	17,599	17,066	17,599	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	0	0	0	0	

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	教室等の講座企画数	講座	目標	16	16	16	16
			実績	15	16	16	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	国際交流事業などへの年間参加者数	人	目標	1,900	1,900	2,000	2,000
			実績	1,933	2,090	2,048	
日本語教室の受講者数	人	目標	850	500	500	500	
		実績	446	427	367		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	教室等の講座企画数と国際交流事業などへの年間参加者数については、目標を達成した。日本語教室の受講者数については、PR不足や景気動向による外国人数減少などの理由で目標を下回った。				
		事業実施における課題	日本語教室の受講者数が減少している。外国人数の減少や近年の日本語教室の開設により、受講する必要がある外国人の母数が減ったことも考えられる。しかし、PR不足による影響もあるため、周知方法の再検討を実施する必要がある。 また、今後も外国人数の状況に合わせて事業規模を適正なものとするよう検討する必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	国際交流の機会及び地域に住む外国人との交流の機会が減少する。最近では景気が回復傾向にあり、今後外国人数の増加が見込まれるため、事業を中止したときの影響は大きいと考えられる。				
	改善内容	平成25年度の	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	24年度の実施結果における課題から、小牧市国際交流協会につながりのない方を含め、多くの方に各種事業の存在をPRできるようなPR方法を引き続き模索する。また、平成26年度に小牧市国際交流協会設立20周年の節目の年を迎えるため、記念事業案を今年から検討する。			
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	26年度は小牧市国際交流協会設立20周年の節目の年にあたり、事業規模は「維持」とするが、事業の中身をよりよいものに改善していき参加者を増やしていく。					
	26年度以降の改善案	外部の任意団体でボランティアを基礎とするため劇的な変化は難しいが、中長期的なスパンで徐々に問題点を解決していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。現状としては、維持と判断するが、助成額については、毎年の外国人数の状況や国際交流協会の事業実績を十分に踏まえた上で決定すること。